

鶴岡市総合計画審議会 第3回社会基盤専門委員会（会議概要）

- 日 時 令和5年5月24日（水）午後2時～3時50分
- 場 所 鶴岡市上下水道部 2階大会議室
- 出席者 添付席次表のとおり（7名出席）
- 傍聴者 なし
- 協議議題 3 協議

(1) 第2次鶴岡市総合計画後期基本計画（社会の基盤）の素案について
・各担当課から「施策の方向」と「主な施策」について説明
→主な意見は下記のとおり

(2) その他 基本計画策定全体スケジュール（案）について説明（質疑なし）

- 主な意見（議長：委員長）

【議長】

- ・「第2次鶴岡市総合計画後期基本計画（社会の基盤）の素案について」、前回はテーマを絞りかなり深いところで議論をいただいた。
- ・その内容は反映されているか、そういうところも気になるところだと思う、そういうことも含め、きちんとした体系としてお示しいただいている。
- ・この全体の計画体系でいいか、言葉についても市民向けの計画としていいのか、また付け加えるべき点等などご自由に意見交換をして頂きたい。

【委員】

- ・パークアンドバスライドというような形で、運転免許証返納や、バスに乗りましょうと言ったとしても、乗り継ぎ拠点がなければ公共交通はやはり使いづらい。

【議長】

- ・循環バスなども非常に成績が良く、お客さんが増えているようだが、駅前から何人乗ったというデータはあるのか。

【委員】

- ・5月から交通ICカード「ショウコウチェリカ」を導入。
- ・そのICカードを使われた方が実際どこからどこまで使われたというデータはある。
- ・地域振興等といろいろ協議をさせていただいてデータを公開し、より良い使われ方を市民の方に提供していきたい。

【議長】

- ・前回総合計画についてもものすごく議論した。

- ・総合計画には今いろいろな意見を網羅的に書くわけにはいかないと思ったが、特にこれだけは次に繋げたい意見などいかがか。
- ・先に言います、次の計画の評価の項目をどうするかも議論し、今後は反映していただけると思うが、もし気になることがあればご発言願う。

【委員】

- ・気になる言葉、「未利用地」というのが、私の感觸的には「低未利用地」
- ・低い未利用地というのはよく聞かすが、未利用地だけだと本当に全く使わないことを市の所有として言っているのか。
- ・一般的に低未利用地ということで広いスパンで捉えた方がいいのか。
- ・その辺、一般的にいろいろな資料を見ると国土交通省とか、すべて低未利用地が出てくるので、その辺が気になる。
- ・前回かなり議論になった高さ制限の話だが、何かの形でさらに議論を深めて、いろいろな部署の委員会と意見交換をしながら議論を深めるということでは構わない。
- ・3ページ目の③の建築物の高さの規制や誘導、この言葉だけだとせつかくの議論が忘れさられてしまう気がした。
- ・高さの規制緩和とか、少し言い方を変えた方がいいのではないか。
- ・上手い表現は見つからない、何か変えていただければと思う。
- ・下水道の「BISTRO 下水道」、これも米印で注釈などを付けていただきたい。

【議長】

- ・「低未利用地」というのが一般的な言葉ではないのか。
- ・記述するにしても「・」であまりにも簡単過ぎる。
- ・BISTRO 下水道の注釈をお願いしたい。

【議長】

- ・先程の高さについてはこのままではなくて、次回は論点分かるような形でぜひ出してほしい。
- ・あとは高さとか景観についてはいろいろな立場の方々が入って議論するという理解でよい。

【議長】

- ・一気に題材が広がり、少し意見が出しにくいようだ。
- ・前回の議論などが反映されているとかそういう視点でも結構だ。

【委員】

- ・最初のコンパクトな市街地形成と地域拠点とのネットワークの構築で、市街地の無秩序な拡大の抑制と市街地への都市機能集積の推進し、鶴岡市内に空き家、空き地が多く存在し

ている。

- ・それと並行して、良好な住環境の整備ということで、土地区画整備事業で結構その土地を区画して、建物を建てられる土地を整備してくださり大変ありがたい。
- ・現実問題として、人口が減少している中で、土地区画整備事業で土地もたくさん増え市内の空き地も上手く活用していかなければならない。
- ・そのどちらも考えていかなければならないと思う。
- ・鶴岡市の場合、リフォームに関して補助金事業は出ているわけだが、空き地を利用して建物を建てる方への補助があれば、鶴岡市内の空き地ももう少し住宅地として有効に使ってくださる方がいるのでは。

【議長】

- ・今の質問で思ったことは、郊外の茅原に住むとなると、住む人のイメージがはっきりで、一戸建てである程度広く、そこに車を2台置いて家を建てる。
- ・中心部で空き地などを利用するとしたらどういう居住のイメージを持てばいいのかというのは正直分からない。
- ・ある程度コンパクトにしないと中心部の場合はいけない。
- ・そのときに建物と建物の隙間が共用的に使えるのかどうか、具体的なイメージが湧かないと思う。
- ・既存の市街地の中での住み方。
- ・具体的なイメージのバリエーションの整理が必要。
- ・例えば、R社が行っている非常にはっきりしたイメージでの、中心部集合住宅形式で、ある程度巨大ではあるが、高さ制限も守り建設している。
- ・そういう住まい方もあるし、戸建てに近い形で集合しているのを意識するような住まい方もある。
- ・バス停からは近いとか遠いとか、私が具体的なイメージを1回作るというのはものすごく大事なこと。
- ・本当に中心部に人を戻すのであれば具体的なイメージを部会が主導してくれるのがいいのかなとも思う。
- ・建築的なイメージ、交通の問題も含めて、町の中での住まい方の形がR社は一つの解を出してくれた。
- ・また違う回答もあると思う。
- ・今度の中心市街地の将来ビジョンで建築チームと交通チームが入って一緒にやればいいと、勝手に思っている。

【委員】

- ・4ページのICTの利用環境の件で、Wi-Fi環境などどうやったら皆さんにICTを活用してもらえるか考えた。

- ・自宅でパソコンやスマホでできるが、でもそれが面倒くさいから窓口に来ますというが、例えば窓口に来てその申請書を書くのが、実際画面で操作させるようにすれば、コンビニで住民票をとるときには当然そういう操作になる。
- ・そういった形の体制にすれば慣れるのか。
- ・そこでできるようになりました。
- ・もしくは、帰ってパソコンから操作するときも同じような操作画面になっていれば自然と慣れるのか。
- ・あとは内部の事務方で、その申請書を見たときにその操作をするのであれば、それと同じような操作イメージを先に市民の方にさせていただく。
- ・それで、事務方はそれを確認して訂正なりをしてやる。
- ・そういう仕組みができれば少し浸透するのではないか。
- ・なかなかシステムの改修だとか大変でしょうが、ご検討いただけるとありがたい。
- ・中身の話ではないが、この委員会に限らず、文章の読みやすさという観点から、アスタリスクの注書きのポイントをちょっと下げるとか、一番下段に集約すると見やすいと思う。
- ・ご検討いただければありがたい。

【議長】

- ・最初に窓口でも画面タッチとか、要するに ICT 化された状態で申し込みできる。
- ・窓口に行くと書類というイメージがあるのが、それを打ち破れないかという非常に前向きなご意見だと思う。

【委員】

- ・少し疑問というか質問になるが、委員長の方からあった中心市街地へなかなか人を引っ張って来られないと言うのか、誘導するという部分で、この世代の人たちは中心市街地に来たがらないのではない。
- ・先程都会から来た人が広い庭に家を建てたいという気持ちは分かる。
- ・若年層の人たちが中心市街地に住みたがらない。

【委員】

- ・極端な話で言うと、家を取り壊してどんどん広げるとか、家中新町の除雪とか、確かに車が入るのは大変だなという印象。

【委員】

- ・そのテーマは青年会議所で取り上げてみては。
- ・それこそ若い世代、40歳までなので、なぜ町が賑わないかを本当に市役所でデータを持っていると思うので、どうやったら賑わうのか、その若い世代の人たちで考えてもらっ

て、自分たちで中心市街地の活性化の答えを見つけて貰いたい。

- ・そういう取り組みは私もやってきた。
- ・今年大々的にやる花火も大事だが、その一発でかい花火を上げた後でもいいので、青年会議所の中でどうやったら町が賑わうかを考えていただき、自分たちで回答を出し次に続けていく方向が一番良い。

【議長】

- ・厳しい・・・。
- ・現実的には若い人で街中に住んでいる人も、住みたいということで移ってこられた方もいらっしゃるわけです。
- ・やはり郊外にはない何らかの魅力がある。
- ・郊外の一戸建てのライフスタイルではない、それに劣らないライフスタイルが街中でできることを、居住空間のイメージ、通勤場所、交通移動手段、医療サービスとか雪の問題とか、そういうのを含めた具体的なイメージをきちんと出すというのが非常に大事。
- ・都市計画というのは今までのものから拡大していく、その拡大の部分をどうするかというビジョンはずっとやってきた。
- ・あるいはそれは平面的な拡大のところをどうしていくか具体的なイメージを出してきた。
- ・団地とか郊外住宅、あるいは街中の低い低未利用地を上に乗せたときのイメージも具体的にを出してきた。
- ・都市計画というのはそういう役割を、今あるものの上に延ばす場合、広げる場合は非常に得意なビジョンを出してきた。
- ・中心部がどう変わっていくかということに関してのビジョンを出すというのは非常に都市計画では遅れてきた分野で、1980年代頃からそこが大事だと言っていた人はたくさんいたが、現実には非常にうまくいっていない。
- ・立地適正化計画とか鶴岡市の場合は都市再興基本計画が、そういう中でも非常に今あるところの具体的なビジョンは全然出てこないというのが難しい。
- ・具体的にもう住んでいる方もいるし、ランドバンクの制度を利用して接道が悪くても6mでなくて4mでも街中に住みたいという人もいます。
- ・そういう人の意見も具体的な何を求めているのかを積み上げていくときに来ている。

【議長】

- ・今までも街の中に住む、若い人ではないが人気居住クオレとか、銀座の三井さんのお屋敷、鶴岡市は非常に全国的に注目された街中居住のプロジェクトを持っている。
- ・それが今どうなっているのか、どう評価したらいいのか、どういう方が住まわれて何に苦労されているのかをきちんと分析していかないといけない。
- ・今回NHKの跡地で建設中の物件が売れてくれればいいと思う。
- ・病院があるからと簡単な理由かも分からないが、分析を積み上げて、街中居住の先進地

でありたい。

- ・鶴岡市のクオレハウスが全国から見学者が来て、伝統を生かし街中居住に関し先進地であってほしいと勝手に思う。

【委員】

- ・街中居住について確認させていただきたいことがあります。
- ・交通や情報のネットワークで繋がる、多極ネットワーク型のまちづくりですが、街中居住へのルートは賑わいづくりだけが目的なのか。
- ・歩いて暮らせるまちづくりを推進して、今に繋がっているのは分かるが、例えばそうすると街中にどんどん人の住まいを集めるような仕組みになる。
- ・地方と言いか地域がどんどんなくなる。
- ・当然、そうするとやはりその地域の文化なり伝統、お祭りや神事というものが人手不足でどんどんできなくなる。
- ・人口を街中に集めるということを目的としているのか、それとも多極ネットワーク型というのは住まいは各地域にありながらネットワークをしっかりとすることで、住まいは広くても都市の機能が市街地にあって、街として機能するところを目指しているのか確認したい。

【議長】

- ・決して旧鶴岡の街中に集めてしまおうということではない。
- ・非常に大きな確認事項であろうかと思う。

【委員】

- ・簡単に言うと中心市街地は周りに比べ1割・2割高い。
- ・すごくネタが豊富なので青年会議所さんが事業として、まちづくりをするためにはどうしたらいいのか。
- ・その若い意見を市役所のどの部署も窓口になってくれる。
- ・それこそ若い青年会議所のメンバーで、このネタを持ち帰って鶴岡市はこんなことを悩んでいるんだ、なぜこうなっているんだろうと自分たちで、事業のネタがたくさん入っているのでぜひ取り組んでもらい。
- ・明るい豊かな未来（明るい豊かな社会づくり）の、町を築き上げよう、その周辺で豊富なネタがあるので、次年度になるでしょうが事業としてぜひ頑張ってくださいなどエールを送る。

【委員】

- ・鶴岡市の人口を増やすといえば中心市街地というの私は今日初めて聞いた。
- ・そういった問題があったのだと初めてこの会議で知ることができた。

【議長】

- ・鶴岡市は中心市街地の活性化でも全国的に非常に優秀な都市です。
- ・部会で説明した立地適正化計画、立適ともいう。
- ・立地適正化計画でも非常にユニークな成果を挙げていると評価をされている。
- ・肝心の市民にあまり認識されていない気がする。
- ・鶴岡市は前回__先生も景観の取り組みは全国的に本当にトップとして評価されている。
- ・中心地居住のクオレハウスも非常に評価されている。
- ・立地適正化計画についても都市再興基本計画という形で非常にうまくまとめられていて、評価されている。
- ・非常に高い評価を得ているが、あまり市民に共有していない。
- ・鶴岡市の立地適正化計画がユニークなのは住宅地の範囲を一般的な都市であれば国土交通省の推薦だと交通の便利なところを集めようという発想だ。
- ・鶴岡市の場合には歴史的な蓄積のあるところに人を集めようというちょっと視点が違う。
- ・その辺が非常にユニーク。
- ・都市機能は便利な所を集めるわけだが、住宅機能はみんながここが鶴岡だなと感じるところを集める考えが非常にいい、私はすごくいい視点だと思います。

【議長】

- ・まだ少しだけ時間はあるんですが、〇〇委員お願いします。

【委員】

- ・せっかくですので要望といたしますか、
- ・鶴岡市街地の除雪が、すごい何でしょう、私は羽黒に住んでいて市街地に入ってくると、市役所の前辺りがすごいボコボコしていて、車が壊れるような状況。

【議長】

- ・ありがとうございました。
- ・議論及びご意見を頂戴する時間はひとまず終了。
- ・式次第の2、事務局より説明。

(事 務 局 説 明)

【議長】

- ・KPI という指標が、達成目標の指標の内容についてもまた次回議論すると理解した。
- ・説明のベースになるのは今日までの議論ということ。
- ・私も委員の発言で思い出したが、最初の審議会の議論内容を教えていただき高さの問題はすごく出ていたと記憶している。
- ・それを受けて社会基盤で議論することになった、審議会や議会関係の方々へ、社会基盤専門委員会での高さの議論内容は当然伝えないといけない。